

ダイキンは業務上重要なアプリケーションを Infortrend ストレージ上で実装

顧客

日本の大阪に本社がある世界で有数のエアコンメーカー、ダイキン工業

課題

- 既存のストレージシステムでは業務用アプリケーションを実施する際のパフォーマンスが貧弱で容量が不足
- 交換後のストレージシステムでパフォーマンスが向上することを確認する必要がある

ソリューション

高性能 EonStor DS 3024R システムを複数台

- より良い性能と容量効率を得るため、高速ファイバーチャネル (FC) と SSD/HDD を組み合わせたハイブリッド技術を装備
- 新たに 3 台のサブシステムを準備。最初のサブシステムには、Microsoft の Hyper-V 技術を利用して、サーバーとデスクトップの仮想化を行い、200 個以上の VM を使用。2 台目のサブシステムでは、Microsoft Dynamic AX 2012 をサポートするため、ERP データベースを稼働。3 台目のサブシステムは、これらの重要な業務アプリケーションのデータのバックアップをサポート。

「EonStor DS 3024R は、膨大な容量のネットワークストレージを非常に求めやすい価格で実現します。また、高性能のデータポートを使うことも可能です。」とダイキン ベトナムのシステム管理者 Nguyen Nhat Linh 氏は述べています。



ダイキン工業は、エアコン製造業界で世界的にも主要企業であり、本社は日本の大阪にあります。Infortrend の EonStor DS ファミリーをベトナム事業所における ERP、データベース、VDI、仮想化、バックアップ等の重要な業務アプリケーションパッケージに組み込むために採用しました。

課題

- 既存のストレージシステムでは業務アプリケーションの性能が低く、容量が不足している
- 交換するストレージシステムで性能が向上するか確認する必要があった

ソリューション

事業拡張の連続によって、ダイキン ベトナムは業務アプリケーションの性能の低下とストレージシステムの容量不足を経験し始めました。厳正な選考プロセスを経て、既存のシステムを複数の高性能 EonStor DS 3024R と交換することを決断しました。これらのストレージは、より良い性能と容量効率を得るため、高速ファイバーチャネル (FC) と SSD/HDD を組み合わせたハイブリッド技術を装備していました。

新たに 3 台のサブシステムを準備しました。最初のサブシステムには、Microsoft の Hyper-V 技術を利用して、サーバーとデスクトップの仮想化を行い、200 個以上の VM を使用しました。2 台目のサブシステムでは、Microsoft Dynamic AX 2012 をサポートするため、ERP データベースを稼働しました。3 台目のサブシステムは、これらの重要な業務アプリケーションのデータのバックアップをサポートしました。

EonStor DS 3024R を選択する理由

EonStor DS ストレージファミリーは、業界トップクラスの価格性能比を持ち、SPC-1 と SPC-2 でも上位の成績です。優れた IOPS、大幅な容量拡張性、高可用性、信頼できる性能によって重要な業務アプリケーションを強力にサポートします。

ダイキンについて

ダイキンは冷媒量可変システムを開発し、室外機/室内機型エアコン市場の革新者となりました。日本、中国、オーストラリア、インド、フィリピン、東南アジア、ヨーロッパ、北アメリカ、南アメリカで事業を展開しています。

詳細については、[ここ](#)をクリックしてください。